

平成31年度 大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程学生募集要項 〈社会人特別入試〉

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、人間科学研究科は、人間や社会の全体的把握を目指す、総合科学としての人間科学に、より高い学術的な水準と、深遠な社会的意義を付加するために、1978年に博士前期課程及び博士後期課程の大学院として発足しました。人間科学という学問に求められる社会からの要請は、近年ますます多岐にわたり高度になってきています。このような社会的要請に応えるため、下記のような基礎学力や研究力を有する者を求めています。

(博士後期課程)

博士後期課程の一般入試では、各分野で必要な高度な専門知識、外国語能力、研究計画・実施能力を筆記試験と論文審査で選抜します。

博士後期課程の社会人特別入試では、高度な研究計画・実施能力を、研究計画書及び修士論文、研究論文に基づく論文審査で選抜します。

人間科学研究科では、学際性・実践性・国際性を柱とする教育プログラムを充実させてきました。博士後期課程では、博士前期課程からの進学者を対象とするだけでなく、人文科学・社会科学そして自然科学の多様な学問を探求する素地を持つ学生を積極的に受け入れます。同時に、高度な語学力、異領域へ強い関心や多彩な職業経験を有した者など、問題意識を明確に持った学生の入学によって、人間科学の幅の広がりや深化を希求しています。

注)本研究科の課程は博士課程であって、これを前期 年の博士前期課程(修士)及び後期 年の博士後期課程(博士)に区分するものです。

1. 専攻・系・講座・研究分野・募集人員

専攻	系	講座	研究分野	定員
人	行動学系	人間行動学	基礎心理学／応用認知心理学／ 社会心理学／臨床死生学・老年行動学／ 環境行動学／安全行動学	若干名
		行動生態学	比較発達心理学／行動生理学／行動統計科学／ 生物人類学／比較行動学	
間	社会学系・ 人間学系	社会環境学	現代社会と社会理論／経験社会学／ コミュニケーション社会学・ジェンダー論／ 文化社会学／福祉社会論	
		基礎人間科学	科学哲学／哲学と質的研究／比較文明学／ 人類学／科学技術と文化	
科	教育学系	臨床教育学	教育人間学／教育工学／教育心理学／ 教育コミュニケーション学／ 臨床心理学	
		教育環境学	教育社会学／教育制度学／ 生涯教育学／教育文化学	
学	共生学系	未来共生学	共生の人間学／共生社会論／ 共生行動論／共生教育論	
		グローバル共生学	国際協力学／多文化共生学／ 地域創生論／コンフリクトと共生	

ゴシック体が出願可能な研究分野です。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、大学卒業後に官公庁・学校・企業・団体等に通算 年以上の在職経験がある者

修士の学位又は専門職学位を有する者

外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

外国の学校、文部科学省の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

在職経験が通算 年以上ある者で、本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、6歳に達した者又は平成 1年 月末日までに6歳に達する者

なお、出願資格 により出願しようとする者は、所定の期間内に出席資格審査申請を行ってください。（後出8参照）

3. 出願方法及び注意事項

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、大阪大学大学院人間科学研究科教務係（本館 階）へ持参するかまたは「注意事項の 」により郵送してください。

願書等受理期間

受付期間	受付時間
平成 0年 7月17日 ~ 7月 0日	10時00分～11時 0分 1 時 0分～15時00分

出願書類

入学願書（本学所定用紙）

写真票・受験票（写真は正面上半身脱帽、 か月以内に撮影したもので、縦 5 cm×横 cmの大きさのものを所定の位置に貼付してください。）

検定料納入証明書（本学所定用紙を願書の所定箇所に貼付してください。）

検定料30,000円を本学所定の検定料振込用紙により、納入してください。

出願受付期間の前に振込むことも可能ですが、平成 0年 7月 9日 以降としてください。

検定料振込用紙には必要事項を記入のうえ、切離さずに検定料を添えて最寄りの銀行窓口（ATM「現金自動預払機」、コンビニ及びゆうちょ銀行「郵便局」は不可）に提出してください。振込手数料は各自の負担となります。

また、本学の窓口での検定料の受理はできませんので、注意してください。

振り込み後、振込用紙についている検定料納入証明書に取扱銀行収納印が押印されていることを確認のうえ、願書の所定箇所に貼付してください。

検定料納入証明書のない願書及び銀行の収納印のない検定料納入証明書は無効とし、当該願書等は受理できません。

大学院（大学）の修了（卒業）証明書（コピー不可）（本学人間科学部（研究科）出身者は不要）

外国の証明書には日本語訳を添付し、修了資格等が確認できる「大学の案内(要覧)」「(写しでも可)等を添付してください。)

大学院(大学)の成績証明書(コピー不可)(本学人間科学部(研究科)出身者は不要。外国の証明書には日本語訳を添付してください。)

研究計画書(書式・分量は自由)

研究計画に関連する研究論文一覧表(論文番号、発行年・月、著者:全員明記、標題、学術雑誌名・掲載ページをこの順で記載)

修士論文及び研究論文の実物またはコピー

なお、上記は日本語または英語以外のものは、日本語または英語の要約とともに所定の提出票を貼った封筒に入れて提出してください。

在職証明書(本学所定用紙または勤務先の様式。証明が得られない場合はそれを確認できる書類。外国の証明書には日本語訳を添付してください。)

本人の宛先記入の封筒 枚

「受験票」等送付用(5円切手貼付)・「合否通知書類」送付用・「入学手続書類」送付用及びについては、切手貼付不要

日本国内在住の外国人出願者は在留カードまたは特別永住者証明書の写し、日本国外在住の外国人出願者はパスポートの写し(氏名が記載されたページ及び短期滞在ビザをお持ちの方はそれが記載されたページ)

その他出願資格が確認できる書類(外国の証明書には日本語訳を添付してください)

出願資格に相当する審査合格確認(証明)書類。出願資格で出願の者は、出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の様式例の内容が記載されたものを提出してください。(外国語の場合は日本語訳を添付してください。)

【様式例】 大学としては、本学の学生である 氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。

【添付資料の例】

- ・当該審査の合格の基準
- ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
- ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料

注意事項

願書提出までに志望する研究分野の担当教員に教務係を通して必ず連絡を取ってください。

(教務係 e-mail : kyomu@hus.osaka-u.ac.jp)

願書を郵送する場合は、願書等受理期間内に必着とします。受理期限後に到着したものは受理しません。ただし、平成 0年 7月18日 以前の発信局(日本国内)の消印のある郵便に限り受理します。

郵便は書留速達郵便とし、封筒表に「大学院博士後期課程社会人入学願書」と朱書きしてください。

出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。

また、出願手続後の出願書類の変更・返還はできません。

検定料は次の場合を除き返還はできません。

- ・出願書類を提出しなかった場合または受理されなかった場合
- ・検定料を誤って二重に振込んだ場合

上記により返還請求する場合は、本研究科教務係に連絡のうえ、指定様式により返還請求してください。

受験票は、8月下旬に発送します。(受験票が試験日の1週間前までに到着しないときは教務係へ問い合わせてください。)

出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

4. 障がい者等の事前相談

障がい等がある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、原則として出願開始日の1か月前までに教務係まで問い合わせてください。

5. 入学者選抜

試験区分	日 時	場 所
口述審査を含む論文考査	平成 0年 9月 1日 10:00~	吹田地区 人間科学研究科講義室

注) 提出した研究計画書及び修士論文・研究論文に基づく口頭試問を行います。

口述審査を含む論文考査は、個人面接の形態で行うため、終了時間は各人異なります。

6. 合格者発表

人間科学研究科玄関において合格者の受験番号を掲示により発表します。

また、人間科学研究科ウェブサイトにも合格者受験番号一覧表を掲載します。

日 時	場 所
平成 0年 9月 6日 1:0~	吹田地区 人間科学研究科玄関

合格者には、合格通知書及び入学手続案内文書を出願時に同封された封筒にて郵送します。

7. 入学手続

合格者は、平成 1年 月11日 ~ 月1日 (受付時間10:00~11:0、1:0~15:00)に、原則として、直接来学のうえ入学手続を完了してください。やむを得ず郵送する場合は、書留にして 月1日 17時までに必着するよう送付してください。

所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学を辞退したものと取り扱います。

入学料及び授業料の納入について

納入金 入 学 料 : 8,000円 (平成 0年現在)

授 業 料 : 年額 55,800円 [半期 67,900円] (平成 0年現在)

入学料、授業料の納入時期、納入方法等詳細については、別途入学手続案内文書でお知らせします。

入学料、授業料の金額については変更することがあります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時からの新授業料が適用されます。

8. 出願資格審査について

「 . 出願資格の 」により出願資格審査を受けようとするものは、申請書類を取りそろえ、申請期間内に届くよう大阪大学大学院人間科学研究科教務係 (本館 階)へ持参するかまたは書留速達により郵送してください。(大阪大学大学院人間科学研究科 大学院入学資格認定委員会宛)

申請書類

出願資格審査申請書 (本学所定用紙)

出願資格審査調書 (本学所定用紙)

自己推薦書 (A 用紙・ ,000字程度、今まで行ってきた仕事や勉強 (研究) 内容と今後行いたい研究内容を含めて作成してください。)

他者の推薦書 (通、担当教員、上司等適正能力を評価できる者)

最終出身学校の卒業 (または在学期間) 証明書または卒業見込証明書

最終出身学校の成績証明書

最終出身学校の学則及びシラバス (授業計画) (コピー可)

職歴に関する証明書 (履歴に記入した職歴の証明を提出してください)

その他、自己の学力を示す論文やレポート、所持している資格で参考になるものがあればその写や証明書等

返信用封筒（長形 号 - 縦 .5cm×1 cm）（返信先を明記し、5 円切手を貼付してください。）

印を付した申請書類については、日本語以外の場合は、日本語訳を添付してください。

出願資格審査申請期間

受 付 期 間	受 付 時 間
平成 0年 6月 5日 ~ 6月 9日	10時00分～11時 0分 1 時 0分～15時00分

出願資格審査結果通知

平成 0年 7月 6日 に審査結果通知書を郵送します。（1週間を過ぎても到着しない場合は教務係に問い合わせてください。）

その他

出願資格審査申請書等、本学所定用紙は人間科学研究科のウェブサイトの大学院受験生 大学院入試のページからダウンロードしてください。

大阪大学大学院人間科学研究科のウェブサイト <https://www.hus.osaka-u.ac.jp>

9. 個人情報の取扱いについて

出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

10. その他

郵便で出願書類一式を請求する場合は、必ず返信用封筒（角形 号 - 縦 cm×横 cmに返信先を明記し、50円切手を貼ったもの）を同封し、封筒の表に「博士後期課程（社会人特別入試）募集要項請求」と朱書してください。

自動車及び自動二輪（原動機付自転車を含む）による大学構内への入構はできません。

受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。

平成 0年 6月

書類送付先及び問い合わせ先

〒565-0871 吹田市山田丘 1 - 2 大阪大学大学院人間科学研究科教務係
TEL 06-6879-8014（直通） または 06-6877-5111（代表）内線 8014
e-mail : kyomu@hus.osaka-u.ac.jp
<https://www.hus.osaka-u.ac.jp>
事務取扱時間：平日の 9 時から 17 時

平成30年度 担当教員研究内容一覧

系	講座	研究分野	担当教員	研究内容	
人間行動学	人間行動学	基礎心理学	教授 入戸野 宏	心理生理学(特に脳波)工学心理学、「かわいい」の実験心理学	
			教授 森川 和則	知覚(特に視覚)と認知の実験心理学的研究	
		応用認知心理学	教授 篠原 一光	日常的認知、ヒューマンマシンインタラクション、交通安全に関する認知心理学的研究	
		社会心理学	准教授 綿村 英一郎	集団規範やヒトの懲罰行動に関する心理学的研究、犯罪心理学、SNS上のコミュニケーション	
		臨床死生学・老年行動学	教授 佐藤 眞一	臨床・応用老年心理学、特に傷病者を含む高齢者のコミュニケーション/人格の完成に関わる基礎と応用	
			准教授 権藤 恭之	高齢期の認知機能の特徴、超高齢期における心理的発達、長寿要因の研究	
			教授 三好 恵真子	実践志向型地域研究による環境問題の課題解決、食と環境、人と自然との共生、環境修復・サイクル技術開発	
		環境行動学	准教授 青野 正二	環境問題の諸要因と人間行動、騒音制御、音響学、環境評価、環境デザイン	
			准教授 小林 清治	「迷惑施設」の立地をめぐる紛争と合意形成に関する研究、環境問題と公共性	
		安全行動学	教授 臼井 伸之介	日常・産業場面でのヒューマンエラー、リスク管理に関する心理学的研究	
			准教授 中井 宏	効果的な交通安全教育・学校安全教育プログラムの開発と実践、リスクを冒す心理の個人差研究	
	系	行動生態学	比較発達心理学	教授 金澤 忠博	母子関係・仲間関係・自閉症・ADHDの比較発達心理学
			行動生理学	教授 八十島 安伸	学習・記憶・情動・行動選択の脳基盤についての行動神経科学的研究
			行動統計科学	教授 足立 浩平	多変量統計解析の行列モデルと解法の研究開発
生物人類学			准教授 中野 良彦	運動と形態の系統発達から見た人類進化に関する研究	
比較行動学			教授 中道 正之	霊長類の行動発達と社会的認知に関する比較行動学的研究と動物園行動学	
		講師 山田 一憲	霊長類の社会行動の至近要因・発達・適応的機能・進化に関する研究		
社会学	社会環境学	現代社会と社会理論	教授 川端 亮	宗教社会学、現代社会における新宗教研究	
			准教授 高谷 幸	移民研究、現代社会論	
		経験社会学	教授 吉川 徹	計量社会意識論、社会階層論、学歴社会論	
			教授(兼) 川端 亮	社会調査法、宗教性・宗教意識の研究、テキストの計量的分析法	
		コミュニケーション社会学*1	教授 牟田 和恵	ジェンダー論、家族社会学、歴史社会学	
		准教授 辻 大介	コミュニケーション論、メディア研究		
		文化社会学	教授 スコット・ノース Scott North	分業論、共働き家庭における両立問題、労働社会学、法律と社会	
			教授 山中 浩司	医療社会学、臨床文化史、科学社会学、テクノロジーの社会研究	
			教授(兼) GIセンター 石川 真由美	グローバル化と文化・知識、高等教育のグローバル化、東南アジア/日本社会論	
		福祉社会論	教授 斉藤 弥生	社会福祉学、介護研究、地域福祉研究、ボランティア活動に関する研究、北政諸国との比較政策研究	
		講師 遠藤 知子	社会福祉政策、サードセクターと社会的経済、現代政治理論		
人間学系	人間学系	科学哲学	准教授 森田 邦久	科学史、科学哲学、分析哲学	
		現代思想*2	教授(兼) 檜垣 立哉 共生の人間学研究分野	現代フランス哲学、日本哲学、生命論	
			教授 村上 靖彦	現象学、現象学的な質的研究	
		比較文明学	教授 ヴォルフガング・シュヴェントカー Wolfgang Schwentker	グローバル化の理論、文明論、比較思想史、文化と記憶 [平成31年3月退任予定]	
			准教授 野尻 英一	哲学/倫理学、社会理論、精神分析、表象文化論(文明論、時間論、希望論、記憶論)	
			准教授(兼) 言語文化研究科 鈴木 広和	歴史叙述の歴史、中世東中欧の歴史	
			教授(兼) コクカヒ共生研究分野 栗本 英世	民族誌学、北東アフリカ研究、政治・歴史人類学的研究	
		人類学	教授 ズグスタ・リチャード Zgusta Richard	北アジアの民族学に関する研究、東南アジア諸民族の歴史人類学 [平成31年3月退任予定]	
			教授 中川 敏	東インドネシアの民族誌的研究及び理論人類学的探究 [平成31年3月退任予定]	
			教授 福岡 まどか	芸術表現・身体表象とアイデンティティに関する人類学的研究、東南アジアの上演芸術研究(音楽、舞踊、演劇、物語、ジェンダー)	
	科学技術と文化	教授 白川 千尋	呪術と科学の関係に関する人類学的研究、アジア・オセアニア研究		
		教授(兼) COデザインセンター 池田 光穂	医療人類学、中米民族誌学、人類学教育、生命倫理学(研究倫理)、臨床コミュニケーション		
		准教授 森田 敦郎	科学技術の人類学、気候変動適応における科学技術と文化的想像力のダイナミクス、水環境シミュレーションモデルの民族誌		
教育学系	臨床教育学	教育人間学	教授 藤川 信夫	歴史的・文化的教育人間学、教育者・被教育者間の相互行為に関するドラマツルギー的研究	
			准教授 岡部 美香	近代教育思想史、教育人間学、世代継承の歴史的な教育人類学	
		教育工学	教授 西森 年寿	テクノロジー活用などの学習環境のデザインに関する研究	
			教授(兼) 経営企画オフィス 齊藤 貴浩	教育事業評価、大学評価、高校生の進路選択、プログラミング教育	

系	講座	研究分野	担当教員	研究内容	
教育学系	臨床教育学	教育心理学	教授 藤岡 淳子	非行・犯罪の心理学と行動変化のための働きかけに関する研究	
			准教授 野坂 祐子	被害体験による影響とその回復に関する研究	
			特任講師(兼) 上原 秀子 ハラズメン相談室	ハラズメントにおける加害と被害、学校心理臨床に関する研究	
		教育コミュニケーション学	教授 三宮 真智子	思考・学習、コミュニケーションに対するメタ認知の研究。[平成31年3月退任予定]	
		臨床心理学 (MC臨床心理士養成コース)	教授 井村 修	障がい児への臨床動作法の実践的研究、統合失調症や脳卒中リハビリなどの認知障害の研究。[平成31年3月退任予定]	
			教授 老松 克博	心理療法における宗教性、心身相関、自己愛、イメージ変容についてのユング心理学的、精神医学的研究	
			教授(兼) 藤岡 淳子 教育心理学研究分野	非行・犯罪の心理学と行動変化のための働きかけに関する研究	
			准教授 佐々木 淳	社交不安に関する研究及び認知行動療法の実践と研究	
			准教授 野村 晴夫	心理療法、生涯発達における語り(ナラティブ)と記憶想起の機能の研究	
			准教授(兼) 石金 直美 キャリア開発センター	生涯発達の段階、病態水準、心理療法の行われる場の違いによる心理療法のプロセスおよび治療因子の研究	
			准教授(兼) 平井 啓 公衆心理プログラム運営	コンサルテーション/エソロジー心理学の理論と実践、意思決定と行動変容に関する実践的研究	
		教育学系	教育社会学	教授 近藤 博之	教育機会、教育と社会移動に関する計量的研究。[平成31年3月退任予定]
				教授 中澤 渉	教育と階層・労働市場に関する実証研究
			教育制度学	教授 小野田 正利	学校と保護者の関係づくりとトラブル対応に関する研究
生涯教育学	教授 園山 大祐		EU/フランス/マイノリティの教育政策・制度に関する比較国際研究		
	教授 木村 涼子		ジェンダーと教育に関する研究、ジェンダーに関する歴史社会学		
	教授(兼) 山本ベバリー・アン 共生教育論分野 教授(兼) Yamamoto Beverley, Anne 国際教育交流センター		高等教育の国際化研究、比較・国際教育学、思春期の健康教育に関する研究		
	教授(兼) 有川 友子 国際教育交流センター		教育人類学、異文化間教育学、文化習得に関する研究		
	准教授 岡田 千あき		生涯スポーツ、コミュニティとスポーツ、開発と平和のためのスポーツに関する研究		
教育文化学	教授(兼) 志水 宏吉 共生社会論研究分野		教育システム・学校文化に関する社会学的研究		
	教授 高田 一宏		同和教育論、コミュニティ教育論、子どもの貧困に関する研究		
共生学系	共生の人間学	教授 檜垣 立哉	共生の哲学思想、生命と生態学、生態的な文明・言語・芸術学的研究		
		教授(兼) 藤川 信夫 教育人類学研究分野	歴史的・文化的人間学、支援者・被支援者間の相互行為に関するドラマツルギー的研究		
		准教授(兼) 山崎 吾郎 COデザインセンター	文化人類学、新技術の受容とその社会的インパクト、人口減少と自然・社会環境の変化		
		教授 志水 宏吉	教育における排除と包摂、格差社会のなかの公正に関する研究		
		教授 千葉 泉	アフリカ地域研究とその実践的応用、音楽を通じたコミュニケーション、「自分らしさ」に基づき共生社会の構築に関する研究		
	共生社会論	教授 稲場 圭信	利他主義・市民社会のアクション・リサーチ、ソーシャル・キャピタルとしての宗教に関する研究		
		教授 渥美 公秀	ボランティア行動を介した被災者・被災地との共生に関するグループ・ダイナミクス研究		
		教授(兼) 近藤 佐知彦 国際教育交流センター	多文化共生の局面での行動や社会構築のあり方に関する研究		
		准教授(兼) 権藤 恭之 臨床心理学、老年行動学研究分野	ソーシャルキャピタルが健康、寿命に与える影響の研究、長寿者の語りから見る幸福感の研究		
	共生教育論	教授 山本ベバリー・アン Yamamoto Beverley Anne	ジェンダー・セクシュアリティ研究、多文化社会の諸問題、教育の国際化研究		
グローバル共生学	国際協力学	教授 澤村 信英	比較国際教育学、国際教育開発論、アフリカにおける教育開発・国際協力に関する研究		
		教授(兼) 白川 千尋 人類学研究分野	国際協力活動の人類学的研究		
		准教授 杉田 映理	開発人類学、水・衛生の諸問題、アフリカにおける社会開発・国際協力に関する研究		
	多文化共生学	教授 藤目 ゆき	日本近現代史、アジア女性史、ジェンダー論		
		教授(兼) 宮原 暁 GIセンター	東・東南アジアにおける中国系を中心とした人口移動と文化変容に関する人類学的研究、法と文化の人類学的研究		
		講師(兼) 島 園 洋介 GIセンター	医療人類学、東南アジア民族誌、医療技術と身体・社会・文化に関する研究		
	地域創生論	教授 大谷 順子	中国・中央アジア地域の社会開発、国際保健・人口学、国際災害社会学、研究方法論		
	教授 河森 正人	東アジアの高齢者・障がい者福祉、共生のコミュニティづくりに関する研究、地方創生、タイ地域研究			
	准教授(兼) 住村 欣範 GIセンター	地域創生に関する研究、東南アジアにおける食の近代化に関する研究、国際協力に関する研究			
コンフリクトと共生	教授 栗本 英世	紛争と和解、および共存・共生に関する人類学的研究			
	講師(兼) 山田 一憲 比較行動学研究分野	利害の対立と葛藤解決がもたらす霊長類の社会進化、動物と人間の共生			

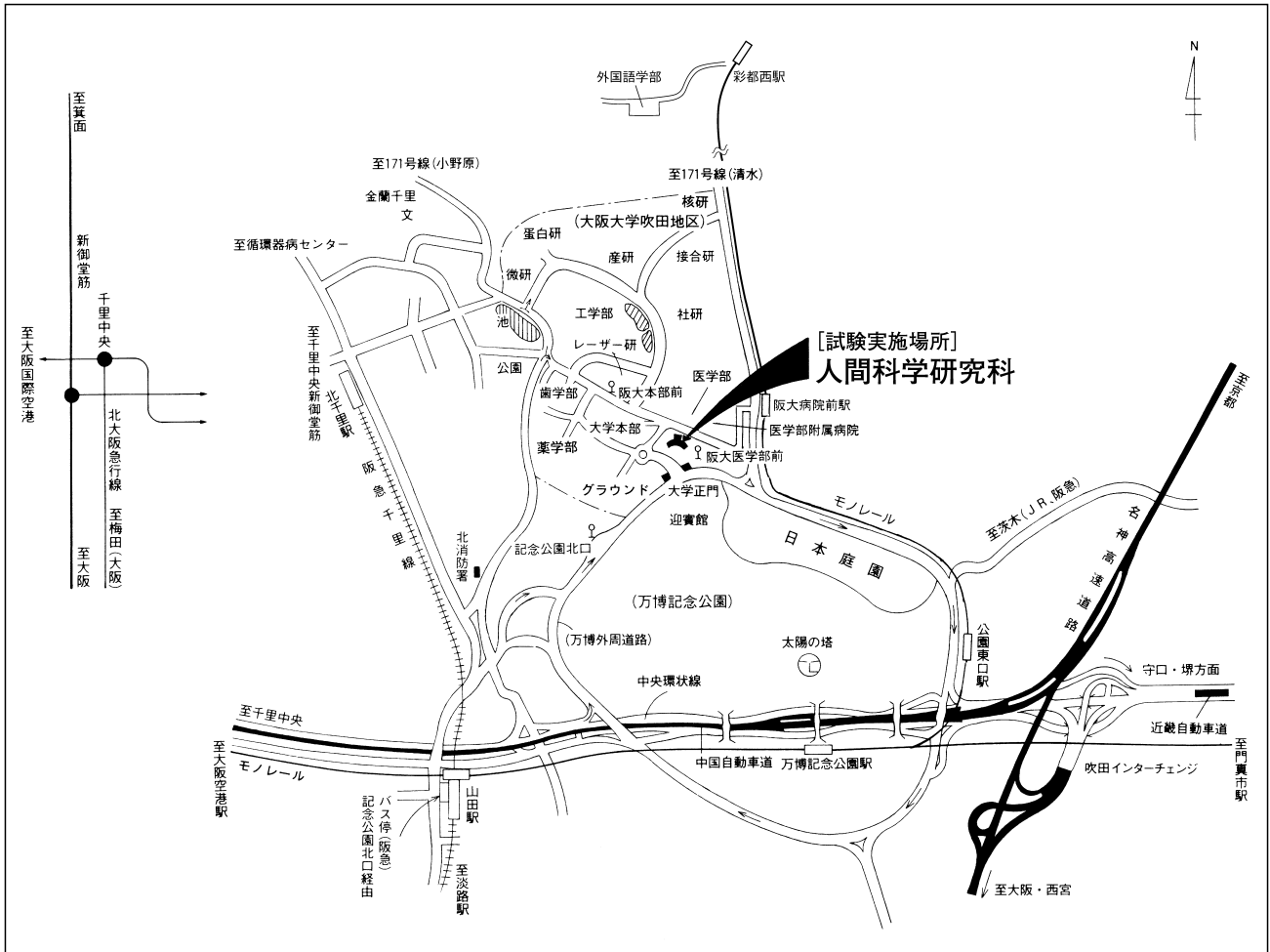
(注) . この一覧表は平成30年5月1日現在で作成しています。以後の変更は人間科学研究科ウェブサイト(https://www.hus.osaka-u.ac.jp)等でお知らせしますので、ご確認ください。

*1 社会学・人間学系社会環境学講座のコミュニケーション社会学は、平成31年度から「コミュニケーション社会学・ジェンダー論」と名称が変更になります。

*2 社会学・人間学系基礎人間科学講座の現代思想は、平成31年度から「哲学と質的研究」と名称が変更になります。
職名の(兼)は研究科内兼任教員を、【兼】は研究科外の兼任教員を示します。職名の下での表記は所属を示します。なお、「GIセンター」はグローバルイニシアティブ・センターの略称です。

3. 氏名の頭に 印を付していない教員については、主たる指導教員になることができません。(副指導教員になることは可能です)また、希望する指導教員が複数の研究分野に在籍している場合は、必ず 印を付した研究分野で出願してください。

● 人間科学研究科 試験実施場所 ●



本学では車両による入構を規制しています。

○利用交通機関（吹田地区）

〔バス〕 阪急バス 千里中央駅発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」(阪急山田駅経由)

近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)

いずれも、「阪大医学部前」または「阪大本部前」下車、徒歩約5分

〔モノレール〕 大阪モノレール「阪大病院前駅」下車西へ徒歩約10分

〔電車〕 阪急電車千里線 「北千里駅(終点)」下車 東へ徒歩約30分